よりよいまちに 一般質問

一般質問とは…議員が市政に対する疑問をただし、執行機関の見解を求めるとともに、自己の意見を述べるものです。枚方市議会では、通常、6・9・12 月の各定例月議会で行われます。

録画映像はこちらから

新型コロナワクチン接種 予約を諦めた高齢者への取組は

連合市民の会　番匠映仁

質問 現在、高齢者への新型コロナワクチン接種は、8割が接種完了または予約済みというが、コールセンターへの電話がつながらない等で予約を諦めた高齢者もいる。このような人へのこれまでと今後の取組について聞く。

答弁 現在、高齢者が日常的に関わることが多い関係機関等にも情報提供を行っており、これからでも予約ができることなど、今後も様々な機会を捉え情報発信に取り組む。

感染症の医学的な情報 市民にしっかり発信を

質問 新型コロナ感染者等への誹謗中傷の根底には、感染症情報の不足等が考えられる。医学的な情報等を市民にしっかり伝えることも必要であり、感染者へのケアの一環にもなるのではないか。

答弁 感染症に関連する人権侵害は絶対にあってはならないという気持ちで、引き続き医学的な知識も含めた情報の発信を通して不安を払拭し、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指す。

コロナ対策事業者支援 課題を整理し特に個店へ支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　鍜治谷知宏

質問 コロナ対策実施店舗応援事業として昨年度、全市民にクーポン券を配布したが、店舗規模別の利用状況について聞く。

なお、同事業の課題をしっかりと整理し、経営面で打撃の大きい地元事業者、特に個店の支援につなげるよう要望する。

答弁 個店での利用が約16%、大型店・チェーン店が約84%で、スーパーなど大手量販店が上位を占めている。

身寄りのない高齢者 身元保証の課題へ支援を

質問 身寄りのない高齢者が増加する中、入院や施設入所の際に身元保証人をつけられず支障が出ていると聞く。市は、これを地域課題として捉え、支援するべきではないか。

なお、市と関係機関が連携するための仕組みづくりを要望する。

答弁 地域包括支援センターに寄せられる相談やその対応等、現状の課題収集を行うとともに、国や他自治体の対応状況を踏まえ、市の関与の必要性について検討していく。

保健所 新型コロナ対応に向け職員体制の充実を

日本共産党議員団　野口光男

質問 新型コロナ感染症の第4波における保健所の職員体制について聞く。

なお、保健所職員の増員は急務であり、感染拡大に対応できるよう、体制の充実を要望する。

答弁 感染症対策に従事する保健所正職員1日当たり24人に加え、応援職員が平日では最大で庁内から12人、労働者派遣法に基づく職員10人などの計24人。休日は計25人で、保健所職員とほぼ同数の応援が必要な状況だった。

中宮北小と高陵小 統合の進め方は問題

質問 中宮北小学校と高陵小学校の統合について、両校の児童に説明を行い、意見を聞いたのか。

なお、意思形成過程に問題がある今回の学校統合は、進めるべきでないと意見しておく。

答弁 児童の理解度や心身の発達度合いに応じた説明が必要で、両校と十分に協議しながら進める。また、友達が増える楽しみを体感できる交流事業等を進めることで、児童の理解を深めていきたい。

LED防犯灯 交換補助の検討に向け地域へ具体的な調査を

公明党議員団　丹生真人

質問 市は、自治会が設置するLED防犯灯に関し、新設時のみ補助しているが、耐用年数を迎えた交換時にも支援を求める地域からの声がある。アンケート調査等で具体的に現状を把握しながら、地域への支援の在り方の議論を進めるべきと考えるが、見解を聞く。

答弁 LED防犯灯の交換が円滑に進むよう、地域の実情を把握しながら方策の検討を進めていく。

新型コロナワクチン 訪問接種できる仕組みづくりを

質問 新型コロナワクチン接種について、移動サービスの車に乗ること自体が困難で接種会場に出向くことができず、かかりつけ医の訪問による接種が実施されていない状況の人もいる。そういった人に対し、訪問接種できる仕組みをつくるべきと考えるが、見解を聞く。

答弁 現在、医療機関に、訪問接種についてのアンケート調査を行っており、その結果を踏まえ、医師会等とも協議し、実施手法を検討していく。

コロナ禍での悪質商法 消費者被害の未然防止と早期解決に向けた取組を

連合市民の会　西田政充

質問 コロナ禍に乗じた悪質商法や特殊詐欺が増加し、2年度の消費生活相談は3414件というが、消費生活センターにおける啓発の取組を聞く。

なお、消費者被害の未然防止と早期解決に向けた取組の充実を要望する。

答弁 新型コロナ関連を含むトラブル事例を取り上げた月刊くらしの赤信号や、訪問お断りステッカーを市民に配布するほか、庁内で連携し、青色防犯パトロール車で地域に啓発放送を行っている。

辺縁周駅整備 市駅再 科学・博物館の誘致で にぎわいの創出を

質問 市駅周辺再整備において、市長が考える④街区の未来像を聞く。

なお、市内外からの幅広い利用が期待でき、にぎわいの創出にもつながる科学・博物館を④街区に誘致するよう要望する。

答弁 ④街区は、再整備の中核となる重要なエリアであり、市駅前から連続した大空間となるシンボリックな公園・広場と周辺施設が一体的に連携したまちを目指していく。

消防団と自主防災組織 より一層連携を深め地域防災力の向上へ

大阪維新の会 枚方市議会議員団　泉大介

質問 消防団の出動要因では、火災は減少、風水害等は増加の傾向である。また、消防団員の7割が会社員で、限られた体制での災害対応も想定される。これらに鑑み、地域防災で今何が求められているのか見つめ直すとともに、消防団の平常時での訓練や自主防災組織との関わりについて重視する必要があると考える。

そこで、消防団の大規模災害時の役割と、平常時の自主防災組織との関係における役割を聞く。

なお、地域防災力の向上のためにも、災害の発生に備えた消防団と自主防災組織との連携をより一層深めるよう要望する。

答弁 消防団は、大規模災害時には枚方寝屋川消防組合と連携協力し、人命の救出、救助活動や出火防止等に当たっている。平常時における自主防災組織との関係においては、自主防災訓練時での消火訓練や救急救命講習などに取り組んでいる。

◆その他の質問

○国・府の方針に基づき屋外分煙所の設置を含む対策事業者支援

子ども医療助成 18歳まで拡充を

日本共産党議員団　広瀬ひとみ

質問 子ども医療助成を18歳まで実施する自治体は、府内43市町村のうち26自治体と6割を超える。コロナ禍において経済的支援を強め、少子化対策や子育て支援に一層力を注ぐために、本市も至急拡充すべきでないか。

答弁 同助成の拡充は、国や府レベルでの対応がふさわしいと考えるため、制度創設や補助金増額の要望を行うとともに、市としても子育て世代への医療施策の検討を進める。

学校トイレの個室へ 生理用品の設置を

質問 「生理の貧困」を受け、他市でも学校トイレの個室へ生理用品を置く中、本市の考えを聞く。

なお、個室への生理の知識を知らせるリーフレット等の設置も要望する。

答弁 生理用品は保健室等に常備し、児童・生徒に提供する中で、家庭の様子等を把握している。経済的理由で購入できない子どもらが人目を気にせず支援を受けられるようにすることは、早期に対応すべき課題と認識する。

特別史跡百済寺跡 ジオラマの展示と資料館の設置を

公明党議員団　山口勤

質問 再整備が進む特別史跡百済寺跡は、全景が把握できるジオラマの展示等を行うことで、観光資源としての活用が進むと考えるが、見解を聞く。

なお、出土品を期間限定で展示すると聞くが、今後は恒久的に展示する資料館を同史跡内に設置するよう要望する。

答弁 各地の史跡では、創建時の様子をICTで再現しており、こうした事例と併せてジオラマについても研究する。

能可生エネルギー 再 市民が検討しやすい電力切替えの取組を

質問 公共施設における新電力への移行など、地球温暖化対策の提案をしてきたが、市は、市民や事業者と共に、どのように取り組んでいるのか。

なお、再生可能エネルギーへの電力切替えについて、市民が検討しやすい取組の推進を要望する。

答弁 クールチョイスの市民への普及、啓発に加え、LED照明や太陽光発電の導入促進など、市と事業者による地球温暖化対策協議会で取り組む。

小学校体育時の肌着着用 全校共通の指針策定を

自由・市民の会　田口敬規

質問 小学校の体育授業で肌着の着用を禁じていることの是非について全国的に注目が集まり、国が見直しの通知を出したとの報道があった。

本市でもこの通知内容を踏まえ、各学校が個別に対応しているという。

しかし、女子児童や様々な感性を持った子どもたちが伸び伸びと体育の授業に取り組むことができるよう、各学校に判断を任せるのではなく、一定守るべき全校共通の指針を策定し示すことで、より適切に学校現場も対応できると考えるが、見解を聞く。

答弁 児童、保護者の意向や状況も踏まえ、柔軟な個別対応が必要となるような例外を除き、国からの通知を遵守するよう各学校を指導していく。

なお、共通の指針については、今後の学校での対応状況を踏まえ、策定の必要性を判断する。

◆その他の質問

○多胎児家庭のニーズを把握し、支援の充実を

○消防団員の処遇改善に取り組み、団員確保を

コロナ禍での子どもの性暴力から守る予防教育を

連合市民の会　野村生代

質問 子どもたちを性暴力の被害者や加害者、傍観者にもさせないために、予防教育が重要であると考えるが、学校で行われている取組について聞く。

答弁 DV予防教育プログラムを今年度は小学校11校、中学校9校で実施予定である。また、国作成の「生命の安全教育」の教材や手引を参考に、低学年時から自分の体もほかの人の体も大切であること等を指導している。

SOGIを尊重し全生徒が制服選択を

質問 学校におけるSOGI[*3]を尊重する取組のうち、自認する性別の服装を認めているというが、中学校制服[*4]の対応を聞く。

なお、トランスジェンダーだからズボンやスカートを選ぶということでなく、誰もが制服を選べるような取組を要望する。

答弁 中学校制服は、性の多様性の観点から、どの生徒もズボン、スカートを選択できる。また、生徒や保護者の心情に寄り添いながら、十分配慮した対応を行っている。

スポーツ施設 柔軟性のある利用基準で観るスポーツの充実を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　岡市栄次郎

質問 観るスポーツの充実において、地元スポーツチームとの連携は重要と考えるが、取組を聞く。

なお、現行では営利目的の施設使用は困難なため、今後は営利、非営利、一般、プロまで様々な施設利用に応じた柔軟な基準が必要と意見しておく。

答弁 市民への無料観戦の機会を同チームから提供されており、市でも認知度を高めるため、SNS等で周知を行っている。

貧困対策 子どもに直接届く支援策の検討を

質問 コロナ禍において、経済的影響だけでなく、学校が一斉休校されたこと等で学習面の不安がある子どもは多数いると考えるが、授業以外での学習支援の取組を聞く。

なお、大阪市では、塾や習い事で使えるバウチャー券を発行している。本市でも子どもに直接届く支援策の検討を要望する。

答弁 希望する小・中学生に対して講師を派遣し、学校で月2～3回、平日の放課後2時間程度の学習教室等を開催している。

幼保連携型認定こども園 民営化した保育所からの移行には慎重な議論を

日本共産党議員団　松岡ちひろ

質問 民営化した宇山光の子保育園の幼保連携型認定こども園への移行が、何の説明もなく進められている。保育所とは全く違う施設への変更であり、とりわけ慎重な議論が必要だと考える。この移行を重大なことと認識していないのではないか。

答弁 保育所としての運営は継続した上で、社会状況の変化や保護者ニーズに対応するため、保育要件のない子どもを追加で受け入れるものである。

脱プラスチック踏まえた商業支援の取組を

質問 コロナ禍で市が行ってきたデリバリー支援は、プラスチックの使用増加につながる一面もある。脱プラスチックに向けては、実質的な効果を上げる取組が必要で、他市では非プラスチック容器の購入経費を補助する商業支援制度もある。本市でも同様の支援を求めたいが、見解を聞く。

答弁 事業者の経営状況、ニーズ等を含めた検討が望ましいと考えており、まずは他市事例を調査する。

学校の手洗い場 自動水洗化を

公明党議員団　上野尚子

質問 コロナ禍での、より衛生的な学校施設整備に向け、トイレ手洗い場の自動水洗化を進めているというが、トイレ整備に合わせた設置では遅いと考える。国の交付金等を有効活用し、トイレ以外の手洗い場も含め早急に進めるべきではないか。

答弁 学校施設の感染症対策は、早急に行う必要があると考える。トイレ以外の手洗い場の自動水洗化も実現に向け検討する。

コロナ後遺症相談窓口の設置は

質問 新型コロナ感染症の治療後に倦怠感や味覚異常などが残る、いわゆるコロナ後遺症に苦しみ不安を抱える人に寄り添うため、相談窓口の設置や事例等のリーフレットの配布をしてはどうか。

なお、しっかりと医療機関とも連携し、市民の命を守る施策を要望する。

答弁 専門的な医療が必要かを見極め、情報提供の方法も含め検討する。また、府と協力し、相談等が可能な医療機関を案内する体制整備に当たる。

AED いつでも使用できるよう自治会館の屋外に設置を

自由・市民の会　漆原周義

質問 心肺停止後の救命率の向上には、いかに早い段階でAEDによる除細動が行えるかが重要であり、処置が10分以上遅れると生存は困難となる。AEDの設置状況や効果的に使用できる範囲を記す枚方版AEDマップ（昼間用、夜間用）を作成すべきだが、見解を聞く。

また、この間、自治会館へのAED設置を提案してきた。AED空白エリアの同会館への設置を積極的に進めるとともに、昼夜問わず誰でも使える屋外設置としてはどうか。

答弁 AEDマップは各自治体で作成状況が異なるため、日本救急医療財団が一元管理し、全国のAED設置情報を公開しており、本市も活用している。今後、市民に分かりやすい設置場所の示し方を調査、研究する。

また、空白エリアへの対応を行う上で、同会館への設置も考えられる。屋外設置の管理面等の課題を整理し、検討していく。

◆その他の質問

○民間団体の支援強化で動物愛護行政の継続を

希望者に手話通訳者を配置します

- 本会議を傍聴する際、ご希望があれば、手話通訳者を配置します。
- 費用のご負担はありませんが、事前のお申込みをお願いします。
- お申込みの方法等については、「枚方市議会」のホームページのうち「市議会傍聴の案内」をご覧ください。

事前の申込みを

お申込みはこちらから

感染対策を行っています

枚方市議会では、新型コロナウイルス感染防止のため、本会議等で右記の対策を行った上、会議の傍聴を受け付けています。

- 自席でのマスク着用
- 議場の窓と扉を一部開放
- 定期的な換気の実施
- ビニール製つい立ての設置（演壇、発言席、傍聴席）
- 傍聴席の間隔を確保　など

感染対策を行った傍聴席